



みんなのひとみ輝き笑顔あふれる明小学校

短冊に書く願い事とその意味

私たちは、七夕飾りに願い事を書きますが、目標を書く場面は学校生活の中にも多々あります。例えば、始業式、お正月、行事の前などです。願いをかなえるために目標を書くことは、達成するかどうか関係ないように思えますが、目標を書いた人の方が成功する可能性が高いそうです。

『メンタル・マネージメント 勝つことの秘訣』(ラニー・バッシュム、藤井優)という本には、オリンピックで金メダルをとるための秘訣が書かれています。オリンピックで金メダルをとるには実力も大切ですが、心の持ち方が大切になります。勝者の心の持ち方を簡単にいうと、①目標をはっきり決め、②それを紙に書き、③すぐに行動を始める、ことなのだそうです。

七夕の短冊には、このうちの①と②を具体化したものです。このように考えてみると、七夕祭りに願いを短冊に書くというのは、何か意味のあることに思えてきます。



図書室に願い事を書いた短冊が飾られています。

こんぺいとうさんお話の会

7月2日(木)に、こんぺいとうさんがお話の会に来てくださいました。子どもたちは、月一回のこんぺいとうさんのお話会をとっても楽しみにしています。この日は、「夏とおとうと」「うみの100かいだてのいえ(ビックブック)」「たなばた」のお話でした。どのお話もワクワクするもので、子どもたちは、嬉しそうに聞いていました。「たなばた」はパネルシアターでした。教室を暗くして、ブラックライトを使ってのお話でした。星がきらきら輝くなか、織姫と彦星が出てくるなど、楽しいお話に子どもたちは大満足で、あっという間に一時間が過ぎていきました。



水泳授業が無事終わりました

今年度の水泳授業が、6月22日(月)に無事に終了しました。子どもたちは、それぞれの目標に向かって意欲的に取り組み、水に親しみながら楽しく学習することができました。子どもたちは、その都度、「今日は〇〇m泳ぐことができた。」「少し水が冷たかったけど、楽しかった!」などと、感想を伝えてくれました。また、水泳授業の実施にあたり、事前のプール清掃にご協力いただいた保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、子どもたちは安全で気持ちのよい環境の中で学習を行うことができました。ご多用の中、ご協力いただきましたことに心より感謝申し上げます。皆様の支えにより、充実した水泳授業となりました。本当にありがとうございました。

田植えをしました

6月23日(火)、学校だより第6号でお伝えした粳まきから育てた苗が順調に成長し、このたび5年生が田植えを行いました。今年は粳から発芽させた苗を子どもたちが植え、稲の生長をより身近に感じられる学習となっています。例年の時期に田植えをすると、夏休み明けには稲がすでに大きく育ち、稲刈りを迎える状態になってしまいます。そこで、今年は、田植えの時期をずらすことで、夏休み明けには穂が出て花を咲かせる様子や、実りとともに頭を垂れる稲穂の姿を観察することができます。子どもたちが季節を通して稲の変化を実感し、観察しやすい環境の中で、米づくりへの理解を深められることを願っています。



校花「ゆうすげ」が咲きました

7月に入り、本校の校花である「ゆうすげ」が、今年も玄関横の花壇で美しい花を咲かせました。ゆうすげは、夕方から淡い黄色の花を開き、翌朝にはしぼんでしまうことから、そのはかなさと美しさで多くの人に親しまれています。本校では、子どもたちや地域の皆様に見守られながら大切に育てられており、毎年この時期になると開花を楽しみにしています。今年も見事に咲いたゆうすげは、子どもたちに季節の移ろいを感じさせるとともに、本校の伝統や自然を大切にする心を育んでくれています。

ぜひ校花「ゆうすげ」の可憐な姿をご覧にお越しください。

